

# 解散・総選挙

12月2日公示・14日投票

# 日本共産党の躍進で「増税ストップ」の審判を



消費者物価上昇率(総務省)は生鮮食品を除く総合指数の前年同月比  
実質賃金指数(厚生労働省「毎月勤労統計」)は規模5人以上事業所の現金給与総額を対象

**GDP速報値予想以上の落ち込み  
安倍失政明らか**

内閣府が17日発表した7～9月期の国内総生産(GDP)速報値は、実質で前期比0.4%減、年率換算で1.6%減でした。物価が上昇する一方、賃金は増えず、実質賃金が落ち込んでいます。(右表)円安による物価上昇に加え、何よりも消費税増税を強行した結果、『増税不況』を招いた安倍政権。3党合意で増税を進めた自民・公明・民主の責任も厳しく問われます。

いよいよ解散総選挙。日本共産党は、消費税の増税をきっぱり中止するとともに、国民の所得を増やす政策に転換して賃上げと安定した雇用を実現すること、社会保障の切り捨てから充実への転換、財源は消費税に頼らず、景気回復と大企業・大資産家の応分な負担で賄う「別の道」に進むべきと提言しています。日本共産党の躍進で、国民の暮らしを守る政治を実現しよう。

## 守山市議会に提出

守山市でも中学校の給食を実施してほしい…。  
「実現する会」は11月18日、16705筆の署名を添えて実現を求める請願書を提出しました。28日から開会する12月定例会で審議されます。「今度こそ採択を」の声が日毎に広がっています。



議長に請願書を手渡す「給食を実現する会」

# 中学校給食を求める署名 16,705筆

### 今度こそ採択を

「給食を実現する会」事務局長 笹木 弘さんの話

この10ヶ月、いろんなところで署名活動をしていて中学校給食実現を求める切実な願いを肌で実感しました。幼児や小中学生をもつ多くの保護者の給食の実現を願う「切実な声」と、また、「頑張っ」という応援と激励も相次ぎました。「是非、お願いします！」16705筆の署名にはその思いが詰まっています。12月議会で市民の要求に応え、請願が採択されることを強く願うものです。

今回提出された請願は、「実現する会」のみならず、2月から市内の保育園前や地域を訪問して集めたもので、1万5206筆の守山市民の署名とともに、自治会連合会長をはじめ、多くの自治会長やPTA会長、子ども会長などの請願も含まれるなど、中学校給食の実現を求める幅広い市民の意思・願いが込められています。こうした運動を反映して、さる9月議会では4会派の議員がそれぞれ中学生の昼食・給食について質問しました。市長からは「そういう時期に来ていい。検討チームを立ち上げる」と答弁されるなど、署名運動の広がりのなかで市の姿勢も変化をみせています。そんななか「早く給食を実施してほしい」と市民の

期待も大きくふくらんでいます。食生活や栄養の偏りなど「食の乱れ」が指摘される今、食育の推進が求められています。共働き家庭や諸事情のある家庭では、子どもに毎日、栄養バランスを考えたお弁当をもたせることは困難です。「実現する会」には民生委員さんや健康推進委員さんも参加し、子育て真っ最中の保護者や祖父母の皆さんと共に、こつこつと署名を集められました。今回の署名数は、守山市人口の19%、市民5人に一人の割合です。こうした市民の願いに、今度は市議会としてどう対応するのか、注目されています。実現をする会は、「今度こそ採択を」と引き続き呼びかけを広げていきます。

日本共産党  
**守山民報**

守山市議会議員  
**小牧一美**  
TEL・FAX 582-3785  
<http://komaki.jcp-web.net/>

守山市議会議員  
**松葉栄太郎**  
TEL 584-3077  
FAX 584-3466

日本共産党守山市委員会発行 686号 2014.11.19 TEL 583-8552 FAX 583-1098

毎週木曜日 午後5:45～6:45 守山駅で街頭宣伝しています。